

よろしくお願いします

令和2年度、入谷打囃子学習会の講師をお願いしている皆さんは下記の方々です。

- 大太鼓…菅原文雄 様(箒畑)
- 笛…西城哲朗 様(押館)
佐藤隆雄 様(大船沢)
- あやし…山内泰法 様(鏡石)
- 獅子…山内久吾 様(鏡石)
- 小太鼓…佐藤貞美 様(山の神平)
武澤伊佐子 様(中の町)

以上の7名の皆様に講師をお願いしています。今回の開講式後には、新しい生活様式に対応した学習会(練習)の在り方を話し合ってくださいました。なるべく「3密」を作らないよう、パート毎の練習や場所の工夫、換気の方法、消毒の仕方など改善をしながら取り組んでいきます。また、自主練習の励行など個人の努力が必要になることが話されました。

ふるさと入谷を学ぶ



あやしパート



公民館長の挨拶



笛パート



獅子パート



小太鼓パート



大太鼓パート



6月16日(火)午前9時より、待ちに待った1年生の生活科「りんご栽培」体験が行われました。例年であれば、2回目の時期にあたりますが、学校の臨時休業のためやっと始まりましたが、学校の恵みで、子ども達の阿部博之さん、恵美子さん夫妻の指導の下に子供たちは摘果作業を行いました。阿部さんからは「丁寧に摘果の必要性を教えていただき、大きいりんごに育つことを願っていました。また、生まれたばかりの子牛を見て、喜ぶ姿が印象的でした。」

6月11日(木)6校時に「入谷打囃子学習会」開講式が体育館を会場に行われました。開講式には、学習会を長年支えていただいている講師の皆様6名をお迎えしました。また、南三陸町教育委員会から入谷公民館長さんをはじめとして4名の職員の方が来校し講師の方々へ委嘱状が手渡されました。式では、講師の方々の代表から挨拶をいただきました。さらに、児童が抱負を発表し、入谷打囃子の活動が伝統を継承するために大切であり、入谷の人々を繋ぐ芸能であることが感じられました。式終了後には、各パートごとに集まり講師の方を中心にしてこれからの練習に向けて一人ずつ取組の決意を発表しました。



摘果の仕方を丁寧に教えていただきました。

生まれたばかりの子牛です。

大きく、大きくなあれー

6月18日(木)の2～3校時に2年生の生活科「菊栽培体験」が行われました。水口沢の西城正人様にご協力をいただき、2年生が菊栽培体験を行います。今年は、臨時休業のために子供たちが例年行っている苗植えが体験できませんでした。この日は、育っている菊の見学が主でした。

思いやりと命の尊さ

西城さんは、菊が育っている過程が分かるようにと植えたばかりの小さな苗を特別に準備し、紙芝居風のフリップで分かりやすく説明してくれました。この活動では、菊栽培だけでなく、フラワーアレンジメントの学習も行っています。花を育てながら、生き物を育てることで「思いやりや命の尊さ」を学んでほしいという西城さんの思いが伝わってきました。



ハウスの中を見学

写真や絵を使って分かりやすく説明していただきました。



種麴を入れています



味噌玉にしています

できあがりを楽しみです

6月11日(木)2～3校時に3年生の総合的な学習の時間で「保存食づくり」の学習を行いました。今回は、ゲストティーチャー(以下GT)に佐藤貞美様、菅原悦子様、山内やす子様を迎えて「味噌づくり」を行いました。GTの方が準備した専用の釜で大豆をふくらと蒸し上げた後、種麴をつけて団子状の味噌玉にして樽に入れました。『美味しい味噌になあれ』と願いを込めながら作業を行いました。作業後には、3名のGTに「天地返し」とは？などの質問をし、ものづくりの工夫について知るよい機会となりました。

第17号
発行元

入谷小CS推進
委員会編集部



ホームページ
へのQRコード